

④ 日本国特許庁 (J P)

⑤ 実用新案出願公開

⑥ 公開実用新案公報 (U)

昭62-105287

⑦ Int. Cl.<sup>4</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑧ 公開 昭和62年(1987)7月4日

E 06 B 3/06  
C 03 C 27/06

1 0 1

8405-2E  
8017-4G

審査請求 未請求 (全2頁)

⑨ 考案の名称 複層ガラス

⑩ 実 願 昭60-197368

⑪ 出 願 昭60(1985)12月24日

⑫ 考 案 者 鈴木 純一 松阪市駅部田町283-32  
 ⑬ 考 案 者 田 尾 正 人 松阪市大黒田町1858  
 ⑭ 考 案 者 竹 内 伸 行 伊勢市一ノ木5-4-5  
 ⑮ 出 願 人 セントラル硝子株式会社 宇部市大字沖宇部5253番地  
 ⑯ 代 理 人 弁理士 坂本 栄一

⑰ 実用新案登録請求の範囲

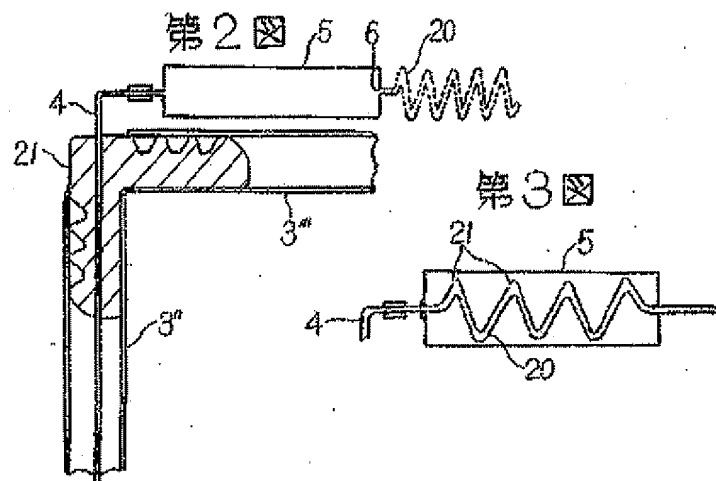
(1) 間隔を隔てて対向する複数枚の板ガラスの周面に吸湿剤を収納した間隔保持部材を設けて内部空間を形成した複層ガラスにおいて、前記内部空間側より外部空間側に延在する連通管に吸湿剤を収納した筒状体を着脱自在に連設し、筒状体の他端に外部空間と通ずる細孔を設けたことを特徴とする複層ガラス。

(2) 筒状体に設けた細孔に小径管を付設したことを特徴とする実用新案登録請求の範囲第1項記載の複層ガラス。

図面の簡単な説明

第1図は本考案の一実施例を示した要部斜視図、第2、3図は別の態様を示した要部断面図である。

1…複層ガラス、4…連通管、5…筒状体。



実開 昭62-105287(2)

